

松江工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語 6	
科目基礎情報							
科目番号	0043		科目区分		一般 / 必履修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	人文科学科・数理科学科		対象学年		3		
開設期	後期		週時間数		4		
教科書/教材	教科書: Fundamental Science in English I (成美堂) / DataBase4500完成英単語・熟語 (桐原書店) / Best Practice for the TOEIC L&R Test (成美堂) / 即戦力ゼミ11大学入試Newベストポイント英語頻出問題740						
担当教員	服部 真弓,福田 妙子						
到達目標							
(1) DataBase4500の70%以上の語彙を認識できる。							
(2) 日常的または身近な自然現象に関する英語の文章を的確に読むことができる。							
(3) 自然な速度で読まれる英語を聞いて概要や必要な情報を聞き取ることができる。							
(4) 日常的または社会的なトピックについて即興で簡単な英語のやり取りをすることができる。							
(5) 日本語を介さずに理解できる英文の水準を自ら選び、自律的・継続的に読書できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	DataBase4500の75%以上の語彙を認識できる。		DataBase4500の70%以上の語彙を認識できる。		DataBase4500の65%以上の語彙を認識できる。		DataBase4500の65%以上の語彙を認識できない。
評価項目2	教科書で扱うテキストの内容を十分理解できている。		教科書で扱うテキストの内容を理解できている。		教科書で扱うテキストの内容を概ね理解できている。		教科書で扱うテキストの内容を理解できていない。
評価項目3	自然なスピードで読まれる英語の概要や必要な情報を正確に聞き取ることができる。		自然なスピードで読まれる英語の概要や必要な情報を聞き取ることができる。		自然なスピードで読まれる英語の概要や必要な情報を概ね聞き取ることができる。		自然なスピードで読まれる英語の概要や必要な情報を正確に聞き取ることができない。
評価項目4	与えられたトピックについて即興で簡単な英語のやり取りをすることができる。		与えられたトピックについて、助け船などを得られれば即興で簡単な英語のやり取りをすることができる。		与えられたトピックについて、助け船などを得られれば何とか英語のやり取りをすることができる。		与えられたトピックについて、助け船などを得たとしても英語のやり取りをすることができない。
評価項目5	日本語を介さずに理解できる英文の水準 (YL) を自ら選び、後期30000語以上のペースで自律的・継続的に読書できる。		日本語を介さずに理解できる英文の水準 (YL) を自ら選び、後期20000語～30000語程度のペースで自律的・継続的に読書できる。		日本語を介さずに理解できる英文の水準 (YL) を自ら選び、後期10000語～20000語程度のペースで自律的・継続的に読書できる。		日本語を介さずに理解できる英文の水準 (YL) を自ら選ぶことができず、後期10000語程度のペースで自律的・継続的に読書できない。
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 G3							
教育方法等							
概要	高専本科5年間で育てたい人材像は、以下の通りである。 「自分の専門分野に関する情報について、英語で理解し、やり取りができる、基礎的な英語運用力を身につけたエンジニア」 本授業においては、既知の数学・理科の内容を英語で読むことによって、「知識」と「英語」を繋げるとともに、身近な自然現象を英語で表現する演習を行う。また、TOEIC演習で1月TOEIC-IP試験に備える。客観的な学習目標として、TOEIC350点、実用英語技能検定2級レベル、CEFR-J A2.2程度とする。						
授業の進め方・方法	定期試験の成績 60%、課題 (DBテスト・月例テスト・夏休み課題試験及び提出・FSEワーク提出) 20%、TOEICスコア (1月) 10%、自主学習 (多読/TOEICリンガボルタ) 5%、授業参加 5%で評価する。 前期に引き続き、トピックトーク・リスニング・速読演習も行う。 月例テスト教材 (即戦力ゼミ11大学入試Newベストポイント英語頻出問題740)、多読 (30,000語) /TOEIC自主学習教材 (リンガボルタ) は各自で進めておく。 TOEICを1月に受験し、スコアを350点満点で換算する。						
注意点	・成績優秀者、再試験、追試験該当者などについて、学生番号・氏名を掲示して連絡することがある。 ・最終成績が30点以上で、授業への取り組み状況が芳しい学生のみを対象に再評価試験を実施する。 ・多読目標達成 (30,000語) に向けて、各自課外で多読学習を行う。 ・グローバルプロジェクトが主催するイベントに1回参加する毎に当科目成績に1点ずつ加点する。(上限5点)						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	DBテスト01、FSELesson 4、TOEIC演習			x座標、y座標について英語で表現できる。	
		2週	DBテスト02-03、FSELesson 4、TOEIC演習			一次関数について「in proportion to ~」等を用いて英語で表現できる。	
		3週	DBテスト04、FSELesson 4、TOEIC演習 ※月例テスト①			二次関数について「the square root of ~」等を用いて英語で表現できる。	
		4週	DBテスト05-06、FSELesson 6、TOEIC演習			電荷について「現在完了」で表現できる。	
		5週	DBテスト07-08、FSELesson 6、TOEIC演習			「make+O+形容詞/名詞」を運用できる。	
		6週	DBテスト09、FSELesson 6、TOEIC演習 ※月例テスト②			「allow+O+to ~」を運用できる。	

4thQ	7週	DBテスト10-11、FSELesson 6、TOEIC演習	「(inversely) proportion to ～」, 「one ～ another …」等の表現を正確に使うことができる。
	8週	中間試験 ※DB問題・FSE問題・TOEIC形式問題	
	9週	DBテスト12、FSELesson 7、TOEIC演習 ※月例テスト③	「prevent + O +from ～ing」を正確に活用できる。
	10週	DBテスト13-14、FSELesson 7、TOEIC演習	「make + O +動詞の原形」を正確に活用できる。
	11週	DBテスト15、FSELesson 7、TOEIC演習 ※月例テスト④	「without ～ing」を正確に活用・運用できる。
	12週	DBテスト16-17、FSELesson 9、TOEIC演習	イオン、電解質について簡単な英語で表現できる。
	13週	DBテスト18、FSELesson 9、TOEIC演習 ※月例テスト⑤	電気分解について簡単な英語で表現できる。
	14週	DBテスト19-20、FSELesson 9、TOEIC演習	酸とアルカリについて簡単な英語で表現できる。
	15週	期末試験 ※DB問題・FSE問題・TOEIC形式問題	
	16週	DBテスト21、TOEIC演習、春休み課題 ※月例テスト⑥	1年間及び3年間の英語学習をふり返し、4年次以降の英語学習の展望をもてる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	定期試験	課題(DBテスト、月例テスト、夏休課題試験・提出)	TOEIC	自主学習(多読／TOEICリンガポルタ)	授業参加	合計
総合評価割合	60	20	10	5	5	100
基礎的能力	60	20	10	5	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0